

神秘学ポエジー 風遊戯
photopos
131

【神秘学ポエジー～風遊戯 第 262集】 photo ヴァージョン

photopos 3251-3275

《2023.8.3～ 2023.8.27》

神秘学遊戯団

現実と
仮想現実の
違いが
わからなくなるとき

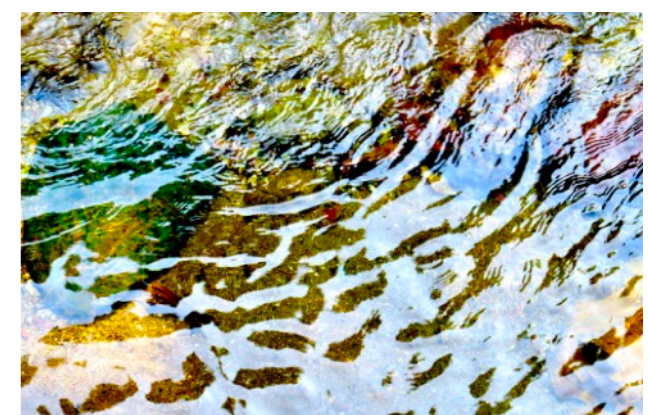
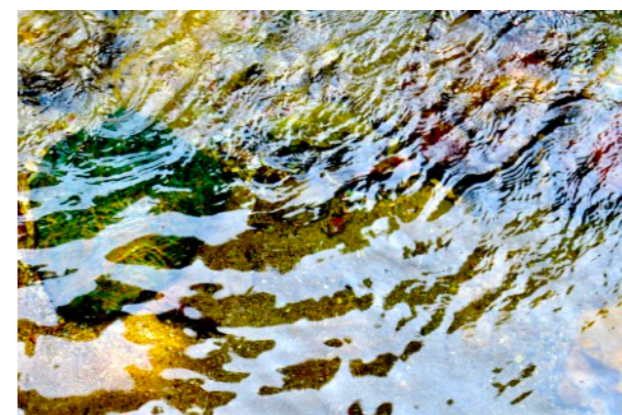
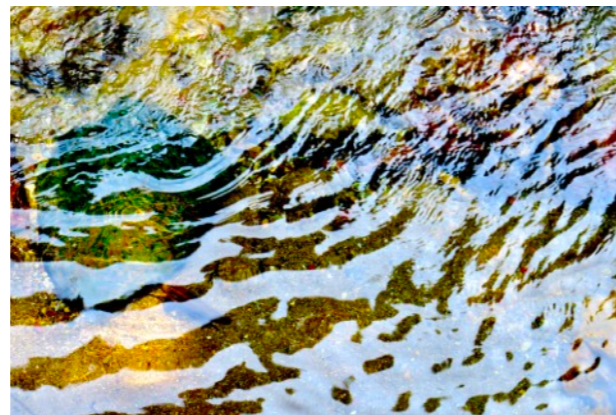
世界が
どこにあるのか
わからなくなりほしくないか

顔と
仮面の
違いが
わからなくなるとき

わたし
そしてあなたが
いったいだれなのか
わからなくなりほしくないか

実物と
複製の
違いが
わからなくなるとき

真実が
なんなのか
わからなくなりほしくないか



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

☆photopos-3252 2023.8.4

わからないときは
分けなくて
ただ楽しむことだ

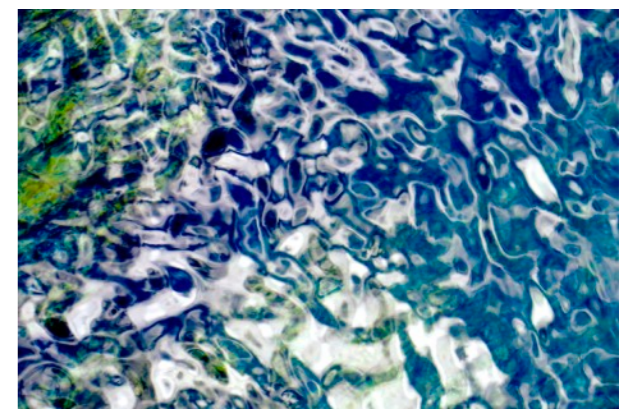
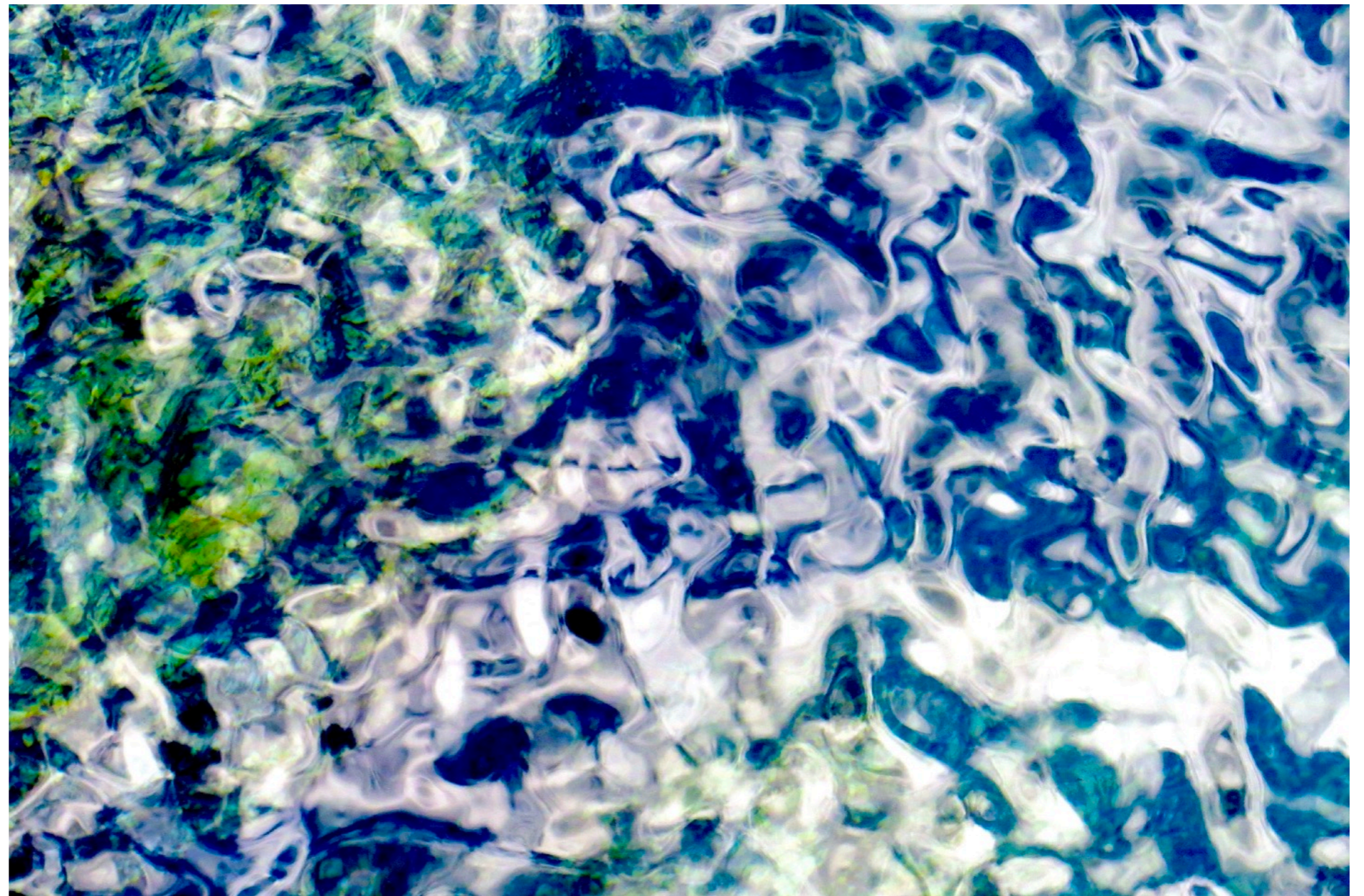
世界を
論理の剣で
殺してしまわないように

知られないときは
知ることなく
ただ遊ぶことだ

言葉を
知識の箱に
閉じ込めてしまわないように

名づけられないときは
名づけなくて
ただともにあることだ

顔を
仮面で
覆ってしまわないように



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

ひとのことは
ひとのこと

おせっかいをするなら
じぶんのことをしてからだ

ひとも
じぶんも
ほがらかになれるように

教えられたことは
教えられたこと

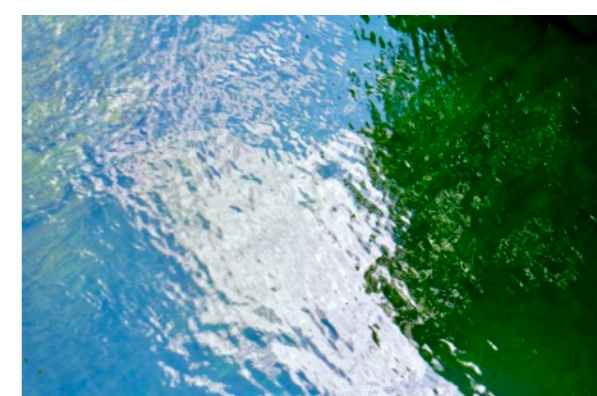
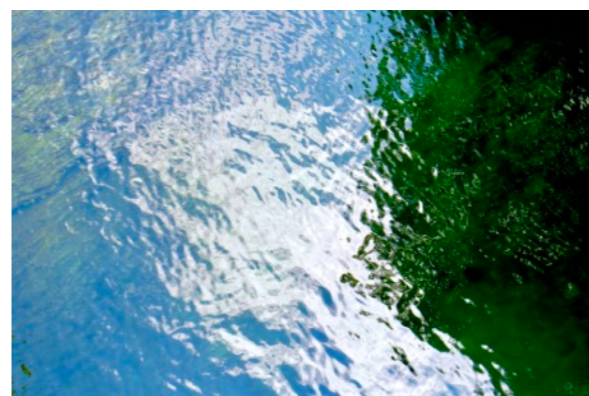
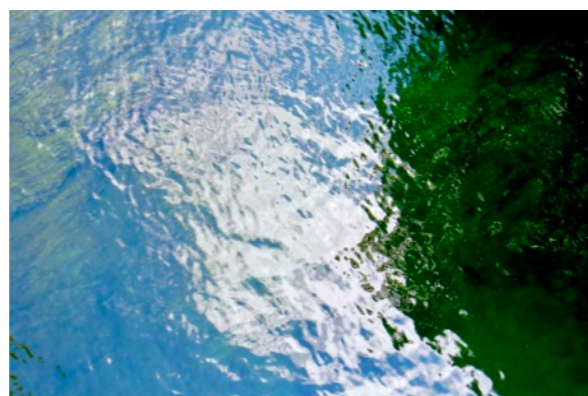
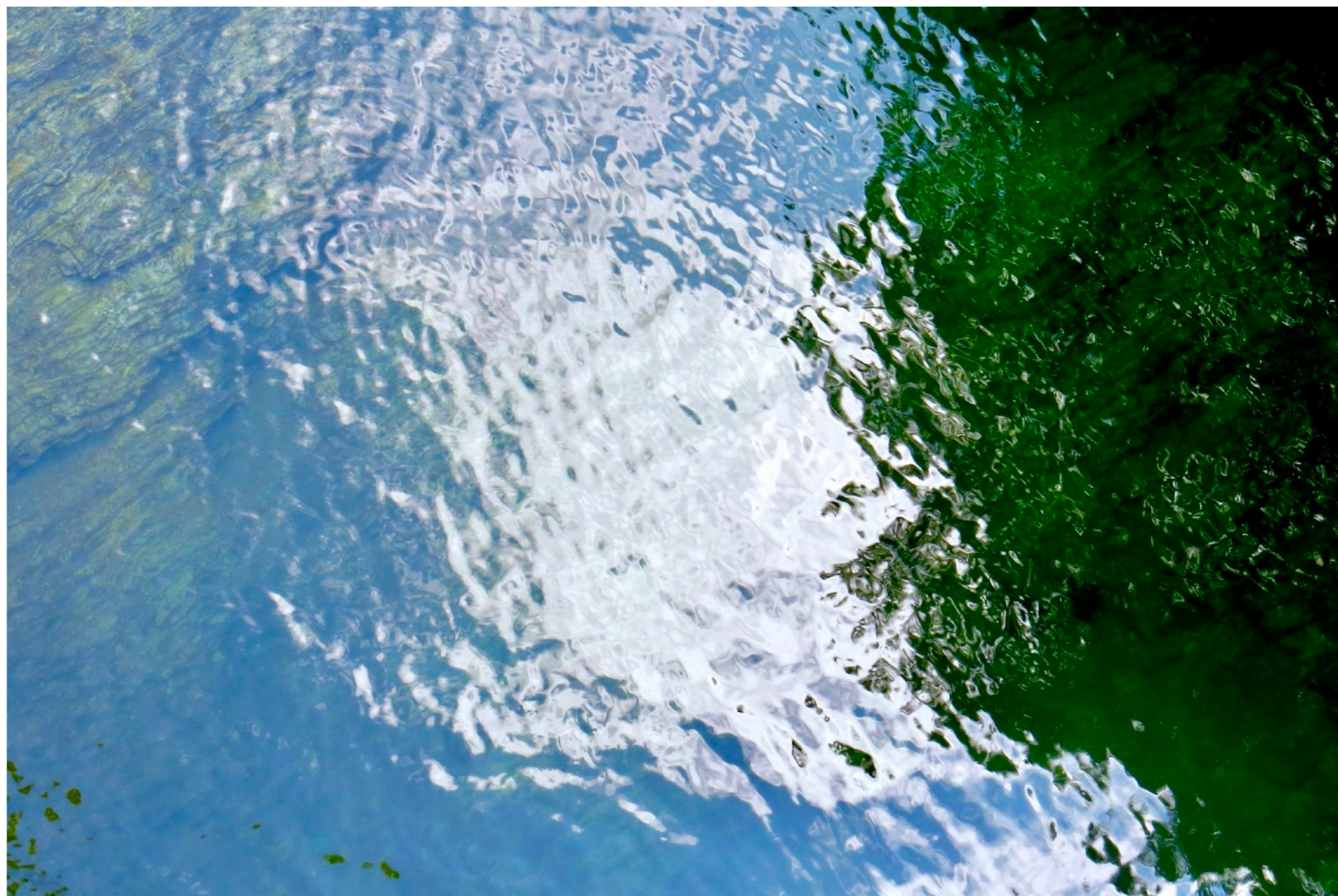
信じるなら
じぶんでたしかめてからだ

ひとも
じぶんも
自由になれるように

与えられたものは
与えられたもの

受けとるなら
じぶんのなかに場所をつくってからだ

ひとも
じぶんも
豊かになれるように



ふたつの道がある

ひとつめは
地図が与えられ
示された道を辿り
光のなかを
目的地へと向かう
安全で確かな方法である

そこで得られるのは
与えられるものだけだ

そこには
決められた答えだけがある
問いは生まれない

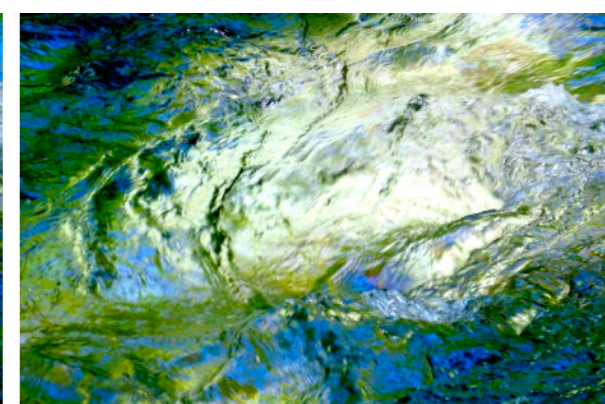
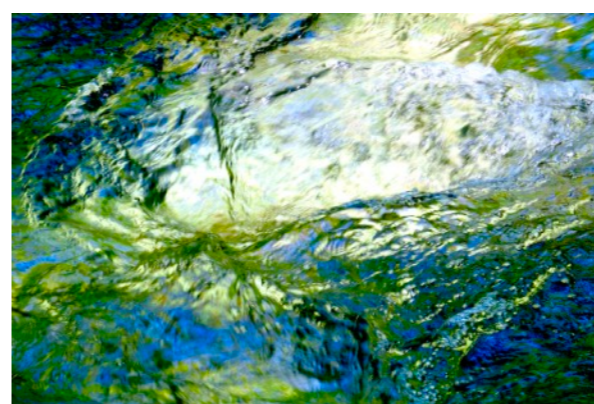
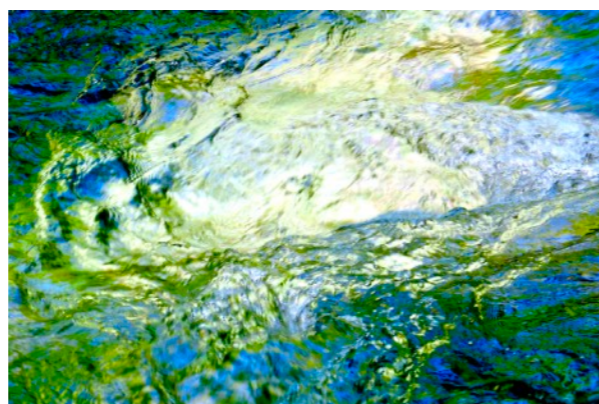
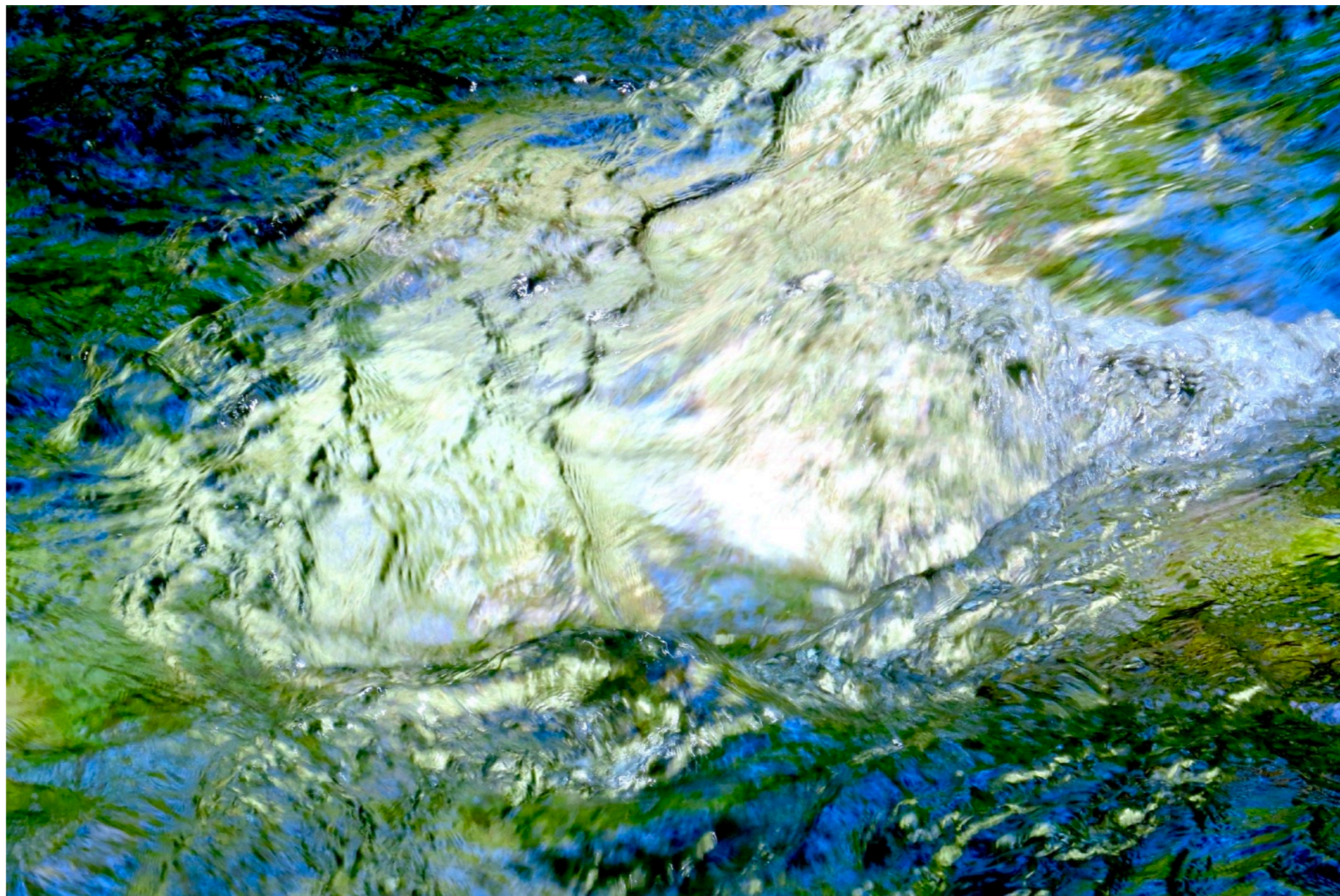
与えることができるのは
過去の地図だけだ

もうひとつは
道なき道を切り開き
道をつくりながら
闇のなかを
目的地へと向かう
困難で危険な方法である

そこで得られるのは
自由と創造から生まれるものだ

そこには
決まった答えはない
問いが新たな問いを生み出してゆく

与えることができるのは
自由と創造へと開かれた問いである



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

悪しき魂のバラードを歌おう

美しき魂は
悪を知らないから
知らないでいる悪を
超えられないけれど
悪しき魂よ
悪を知るがゆえに
悪を変容させるあらたな力へと
みずからを導けますように

弱き者のバラードを歌おう

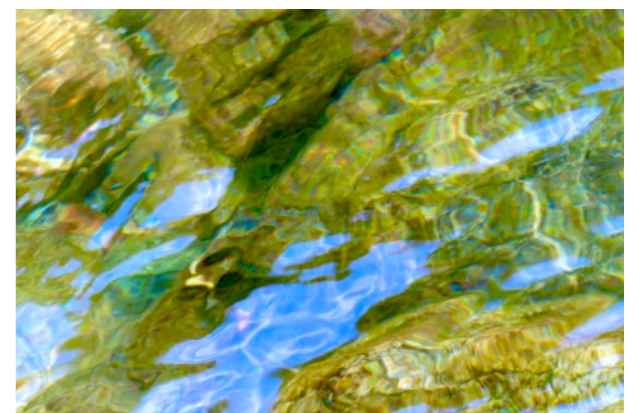
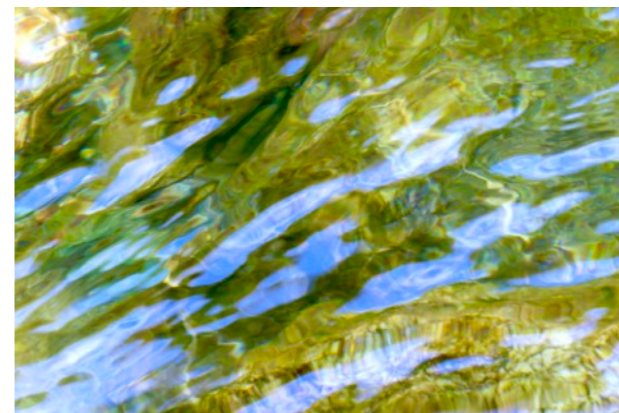
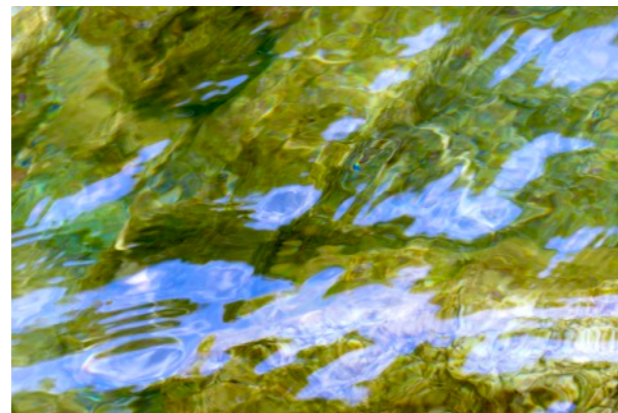
強き者は
弱さを知らないから
知らないでいるじぶんの弱さを
超えられないけれど
弱き者よ
弱さを知るがゆえに
弱さを超えるあらたな力へと
みずからを導けますように

頽廢のバラードを歌おう

健全なる者は
頽廢を知らないから
知らないでいるじぶんの頽廢を
超えられないけれど
頽廢のひとよ
頽廢を知るがゆえに
頽廢を超えるあらたな力へと
みずからを導けますように

背徳のバラードを歌おう

徳ある者は
背徳を知らないから
知らないでいるじぶんの背徳を
超えられないけれど
背徳のひとよ
背徳を知るがゆえに
背徳を超えるあらたな力へと
みずからを導けますように



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

ことばは
どこから
おとずれたのか

こころは
ことばを生み
ことばは
こころを生む

はじめのことばを
わたしたちは知らない

はじめのことばを
知ろうとして
残された古きことばを
よもうとするひとたちがいて

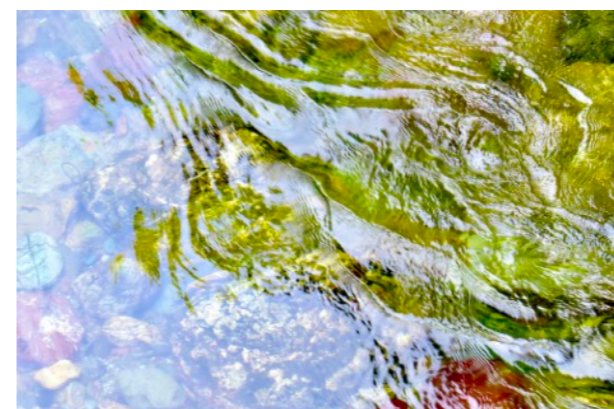
そのひとたちからも
わたしたちは
ずっとずっと遠くにいる

これからも
ことばは
変わりつづけていくだろう

そしていまのことばを
よもうとする人たちも
やがてあらわれるだろう

いつの時代も
こころは
ことばを生み
ことばは
こころを生む

そして
いつの時代も
わたしたちは
ことばを生みだした
こころの姿を
見つけようとするだろう



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

☆photopos-3257 2023.8.9

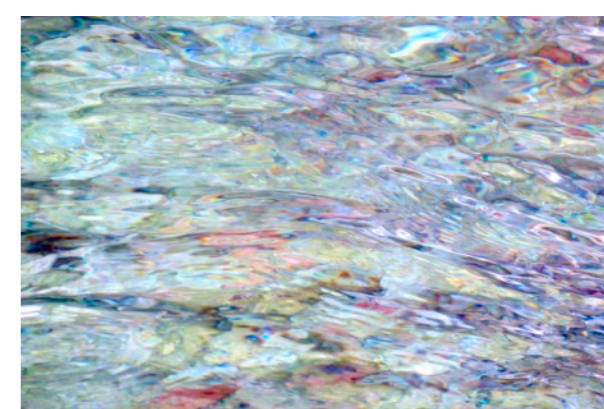
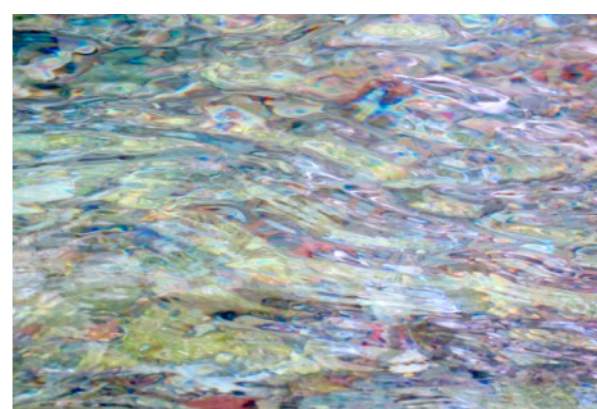
ふしぎに
であうために
生まれてくる

であうすべての
かたちには
わけがあり
それぞれの生きかたにも
それなりのわけはあるだろう

ふしぎのわけをあれこれ
考えてみることはできるけれど
ほんとうのところはわからない

わたしにも
わけがあるはずで
それについて
迷路のように考えたりもするが
出口が見つかったためしはない

わからないのもいいことだ
わからないから
そのふしぎを
いつまでも遊んでいられる



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

知らない
ところに生まれ
ふつうを
教えられながら
ふつうの
わからないまま
知らない
ひとたちと生きている

そんなじぶんに
気づいたとき
わたしは
どうしたらいいか
わからなくなる

ふつうの外は
ないのだろうか

ふつうを
生きられるときは
ふつうをともに生きながら
ふつうを
生きられないときは
ふつうの外で
生きられますように

そしてふつうを
ふつうの外からも
たしかに見て学び
更新することができますように



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

与えるものが
与えられる

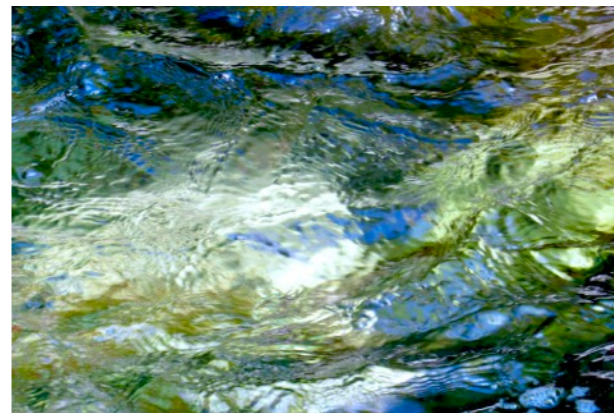
愛も
憎しみも

光も
闇も

気づかないまま
与えるものも
否応なく
与えるものも

そこには
時空を超えた
つながりが生まれ
世界は紡がれ
織りなされてゆく

その多次元的な
タペストリーのなかで
わたしは
いまここにおいて
与え
与えられている
それと気づかぬままに



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

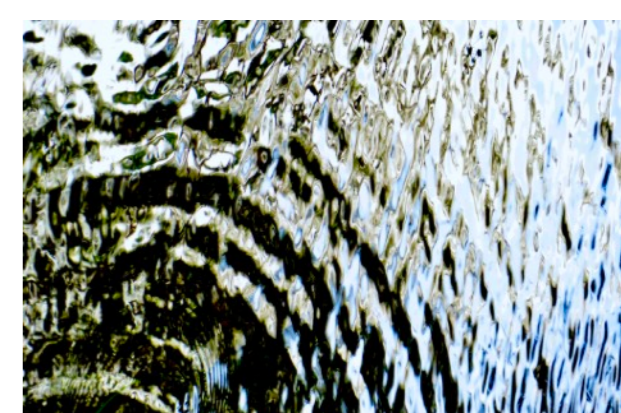
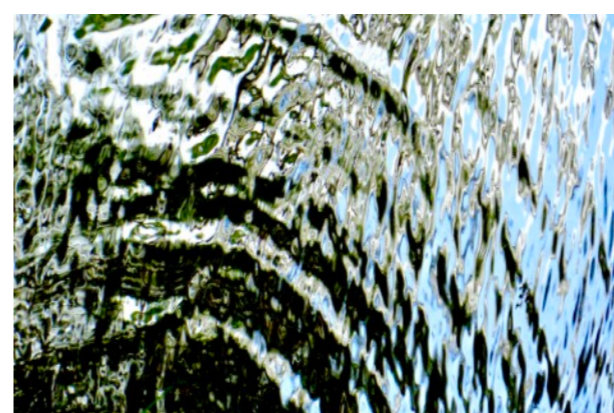
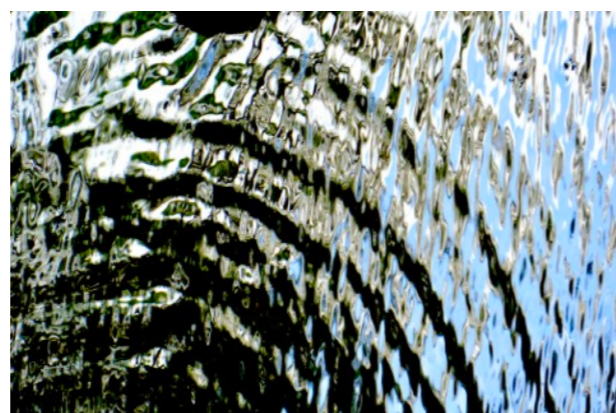
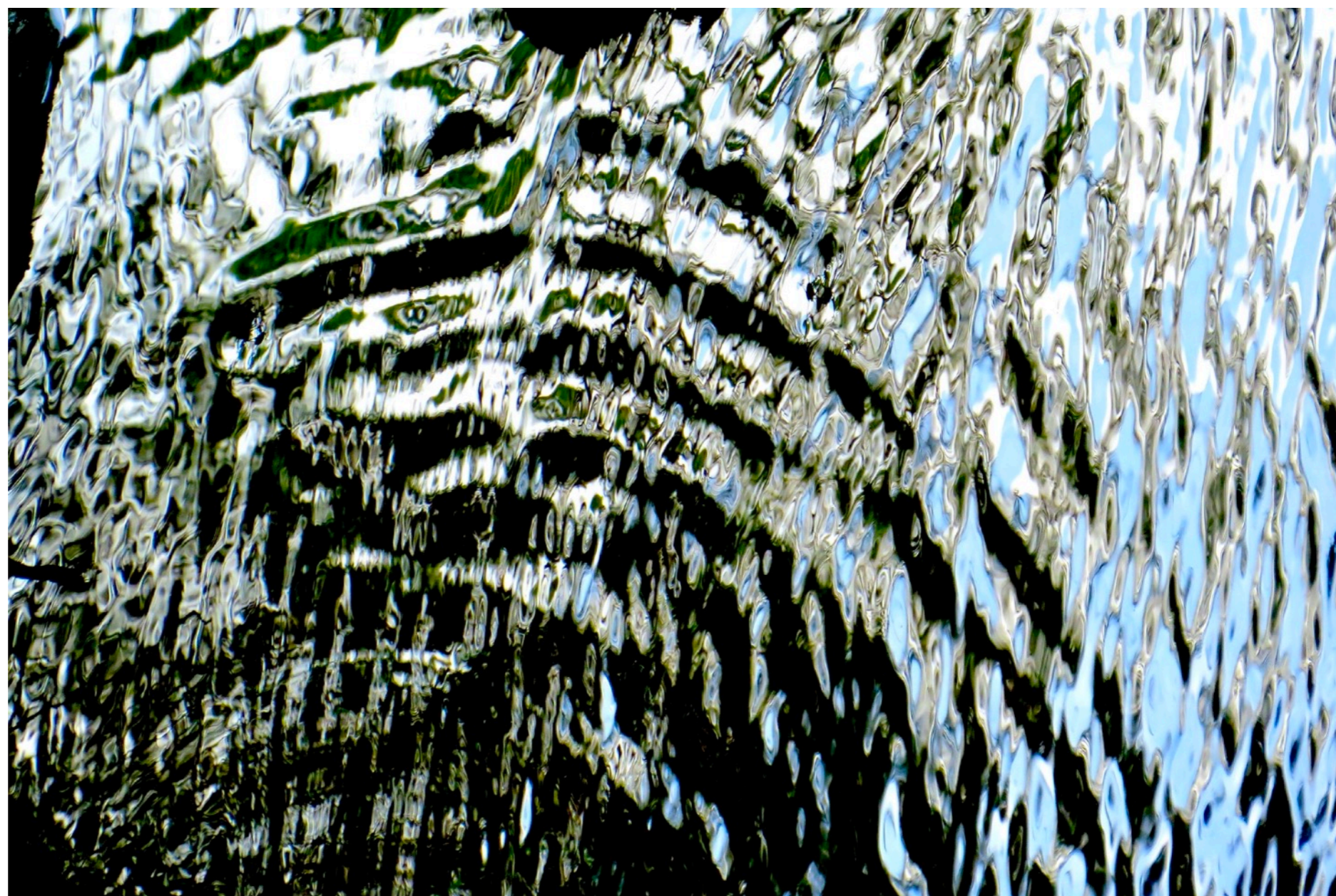
おなじものを
見ているも
おなじようには
見えないのか

おなじように
見ているも
おなじものは
見えないのか

おなじものを
見ているのに
おなじようには
見たくないのか

おなじように
見ているのに
おなじものは
見たくないのか

世界の謎と
人の心の謎は
合わせ鏡のように



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

名は
わたしではない
わたしは名づけられない

けれど
わたしはすべての名だ
あらゆるわたしとともに
わたしはある

生まれは
わたしではない
生まれるまえにも
わたしはあった

けれど
わたしはすべての生まれだ
あらゆる生命とともに
わたしはある

性は
わたしではない
さまざまな性を
転生してきた

けれど
わたしはすべての性だ
あらゆる性とともに
わたしはある



☆photopos-3262 2023.8.14

矛盾のなかを
生きるとき

なにが
一と多を
右と左を
上と下を
光と闇を
陽と陰を

そして
わたしとあなたを
生みだしているか

どちらかではなく
ともに
そこから生まれてくる
そんな場所から
矛盾を照らし出してみる

すると
矛盾は
そんな場所を
示すためにこそ
現れていることに気づく

そのためにこそ
矛盾は生きられている



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

言葉は
魔法になる

覚醒
といいながら
覚醒剤は
むしろ
意識を眠らせる

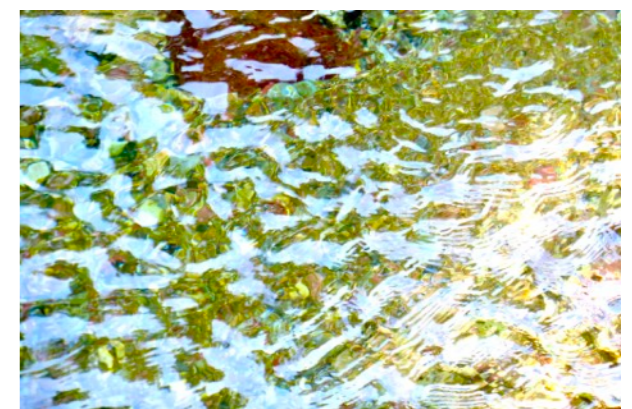
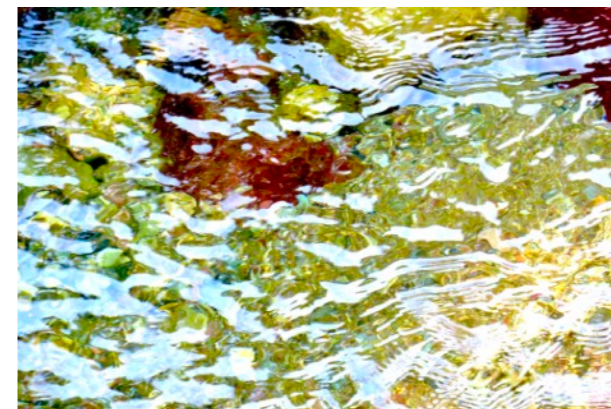
学び
といいながら
教育は
むしろ
問いを眠らせる

科学
といいながら
科学主義は
むしろ
思考を眠らせる

信仰
といいながら
宗教は
むしろ
神性を眠らせる

公共
といいながら
政治は
むしろ
倫理を眠らせる

言葉の
逆説的な魔法に対し
わたしたちは
どんな魔法で
対すればいいのだろうか



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

わたしは
わたしだろうか

わたしは
変わってゆく

わたしの記憶は
わたしだろうか

わたしの記憶は
変わってゆく

わたしのからだは
わたしだろうか

わたしのからだは
変わってゆく

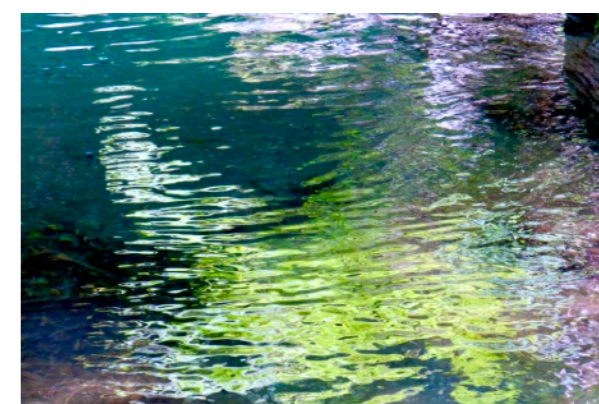
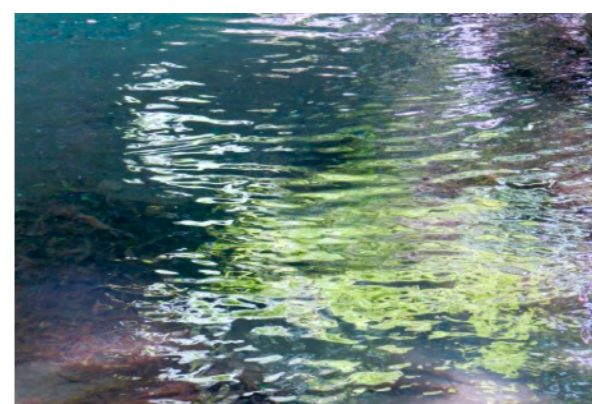
わたしのこころは
わたしだろうか

わたしのこころは
変わってゆく

わたしは
いまここにいて
変わりつづけている

わたしは
変わりながら
わたしを生きている

わたしは
いまここで
わたしを生きている



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

わたしでいる
ただわたしでいる

なにかをする
わたしではない
なにかになる
わたしではない

それは
わたしではないからだ

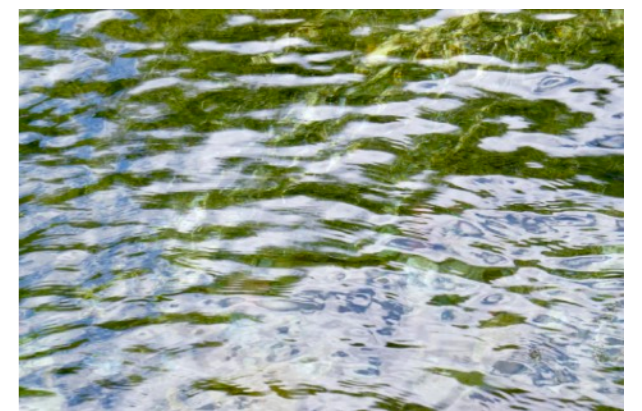
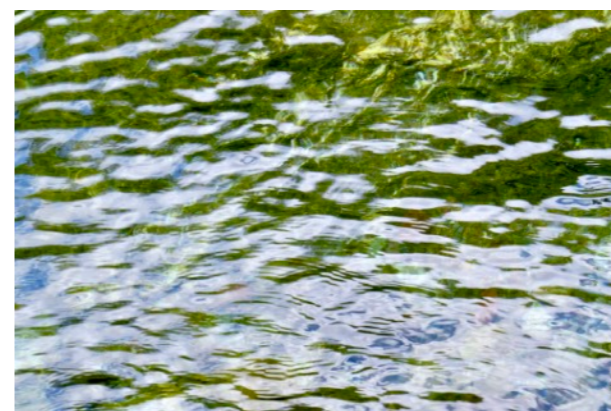
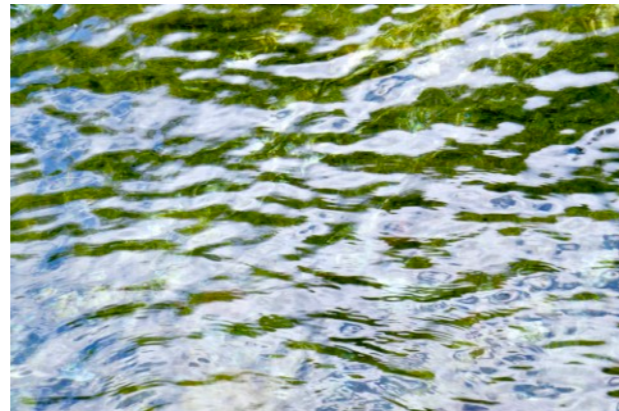
ただわたしでいる

わたしは名ではない
わたしは経歴ではない
わたしは役割ではない

それは
わたしではないからだ

ただわたしでいる

そのときはじめて
だれでもない
わたしというわたしが
ここにいることに気づく



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

島が
生まれるように
わたしは生まれる

わたしだけの
わたしがつくる場所

島が
育つように
わたしは育つ

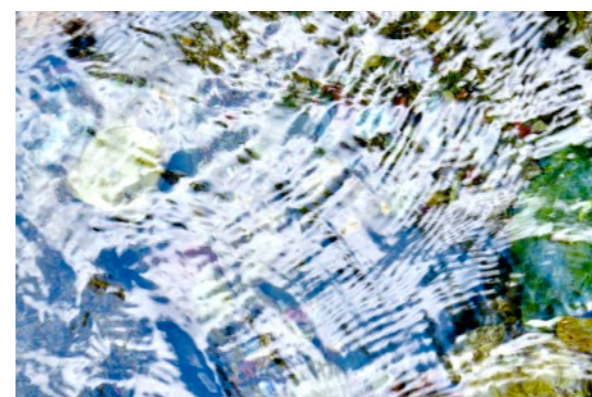
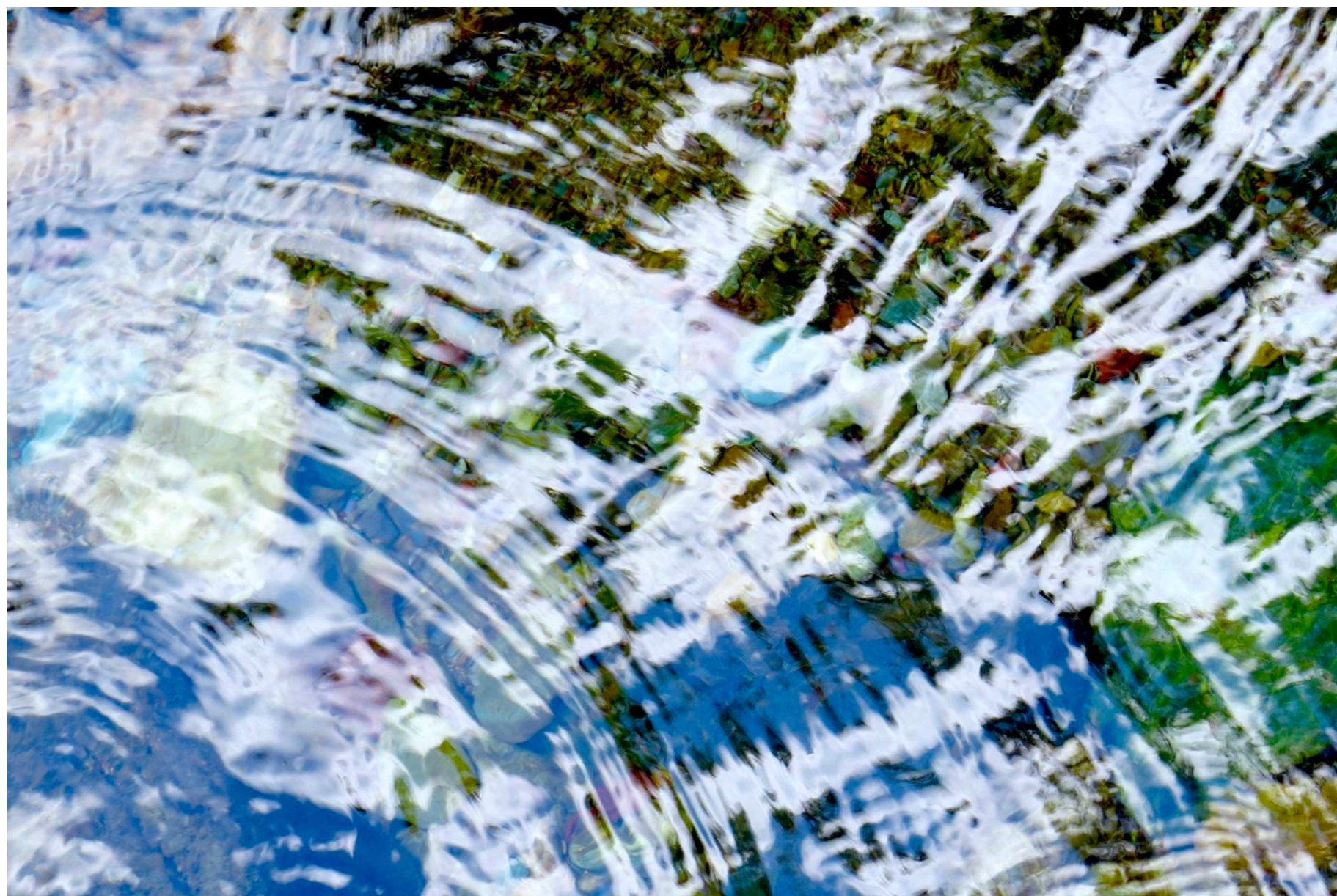
わたしだけの
わたしが育てる生態系

島が
進化するように
わたしは進化する

わたしだけの
わたしが歩く道

島が
夢みるように
わたしは夢みる

わたしだけの
わたしが見る未来



これか
あれか

どちらだ

これも
あれも

どちらもだ

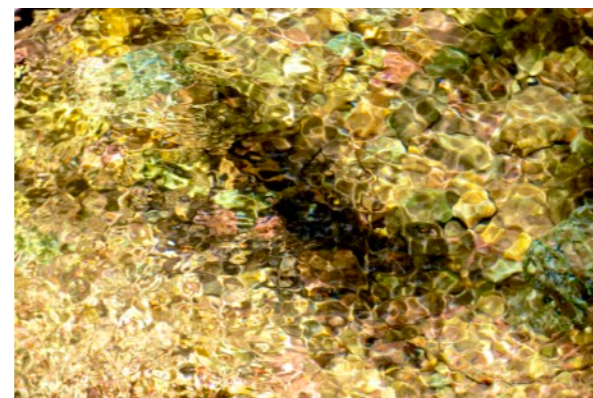
いや
これでも
あれでも

どちらもでない

このことも
あれのことも

わけが
わからなくなったとき

ふと
せかいのそとから
しらないものが
やってくる



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

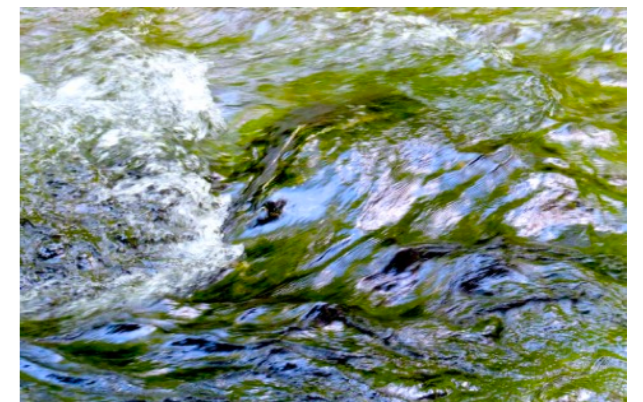
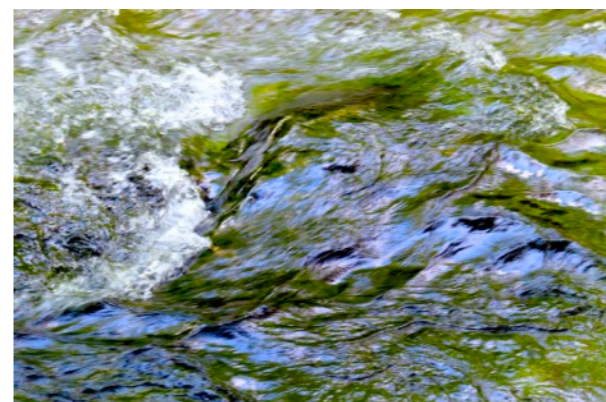
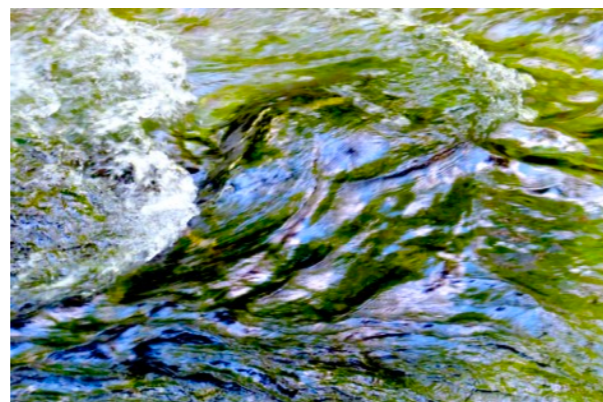
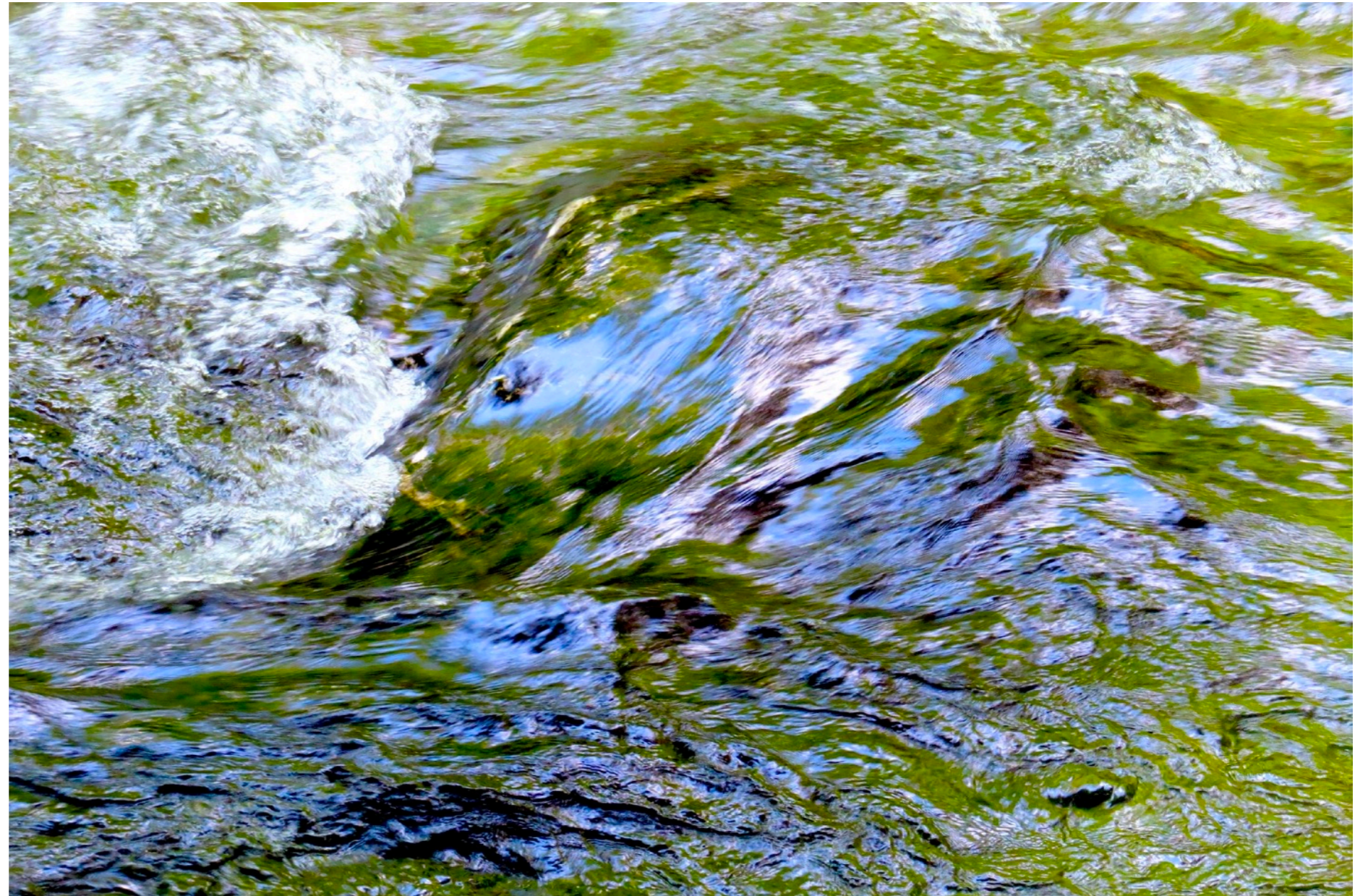
矛盾を
超えるために
矛盾を
生きる

恐れを
超えるために
恐れに
向かう

悲しみを
超えるために
悲しみと
ともにある

苦しみを
超えるために
苦しみの
源をみる

わたしを
超えるために
わたしを
生きる



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

ひとりで
いられなくなると
ひとり
みんなになる

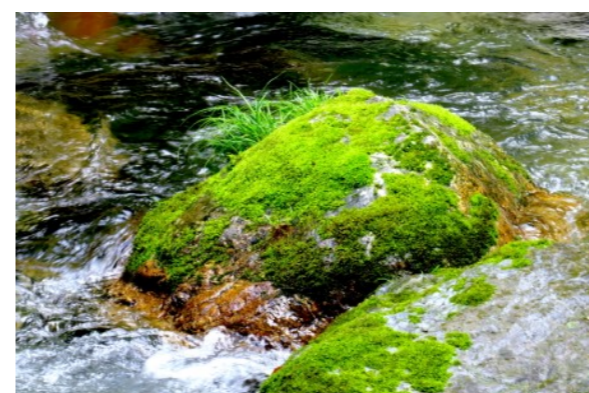
みんなは
ひとりを
みんなに
しようとする

ひとりが
みんなになったとき
ひとは
いなるから
ひとりである

ひとりで
いられないと
ふたりでも
いられない

ひとりと
ひとりのとき
ひとは
ふたりでいられる

ふたりでいられるとき
ひとはひとりで
ふたりになり
ふたりはふたりで
ひとりになる



☆photopos-3270 2023.8.22

わからないから
生きている

死んで
わかるわけではないけれど

生きているのは
問うためだ

わからなさのまえで
問うためだ

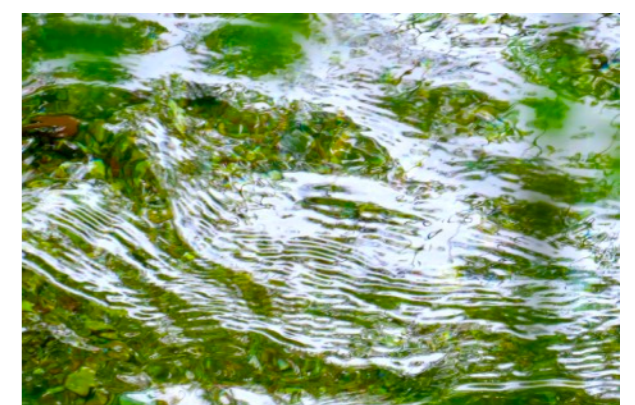
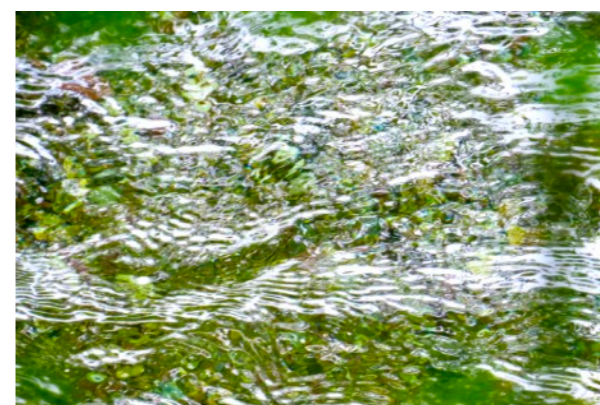
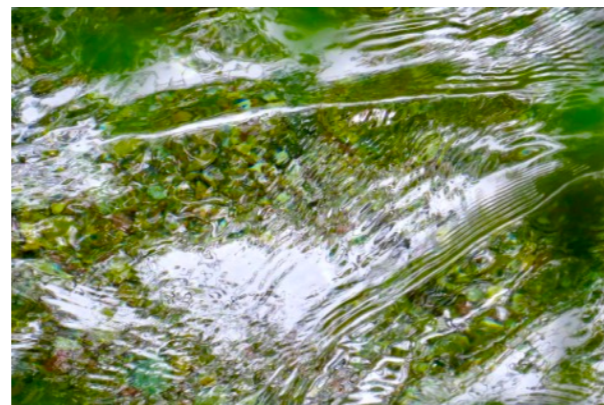
与えられた答えには
問いが無い

データ化されたわたしは
わたしではない

わたしは
からだをもった問いだ

問いは
問いをひらき

わたしのほんとうを
ひらいてゆく



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

☆photopos-3271 2023.8.23

いまは
いつ

ここは
どこ

なぜ
ここにいるの

なぜ
わたしがいるの

わたしは
ほんとうにいるの

なぜ
せかいがあるの

せかいは
ほんとうにあるの

わからないまま
いまここにいる

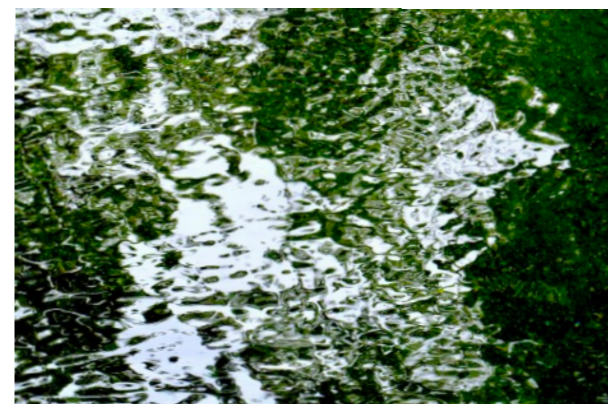
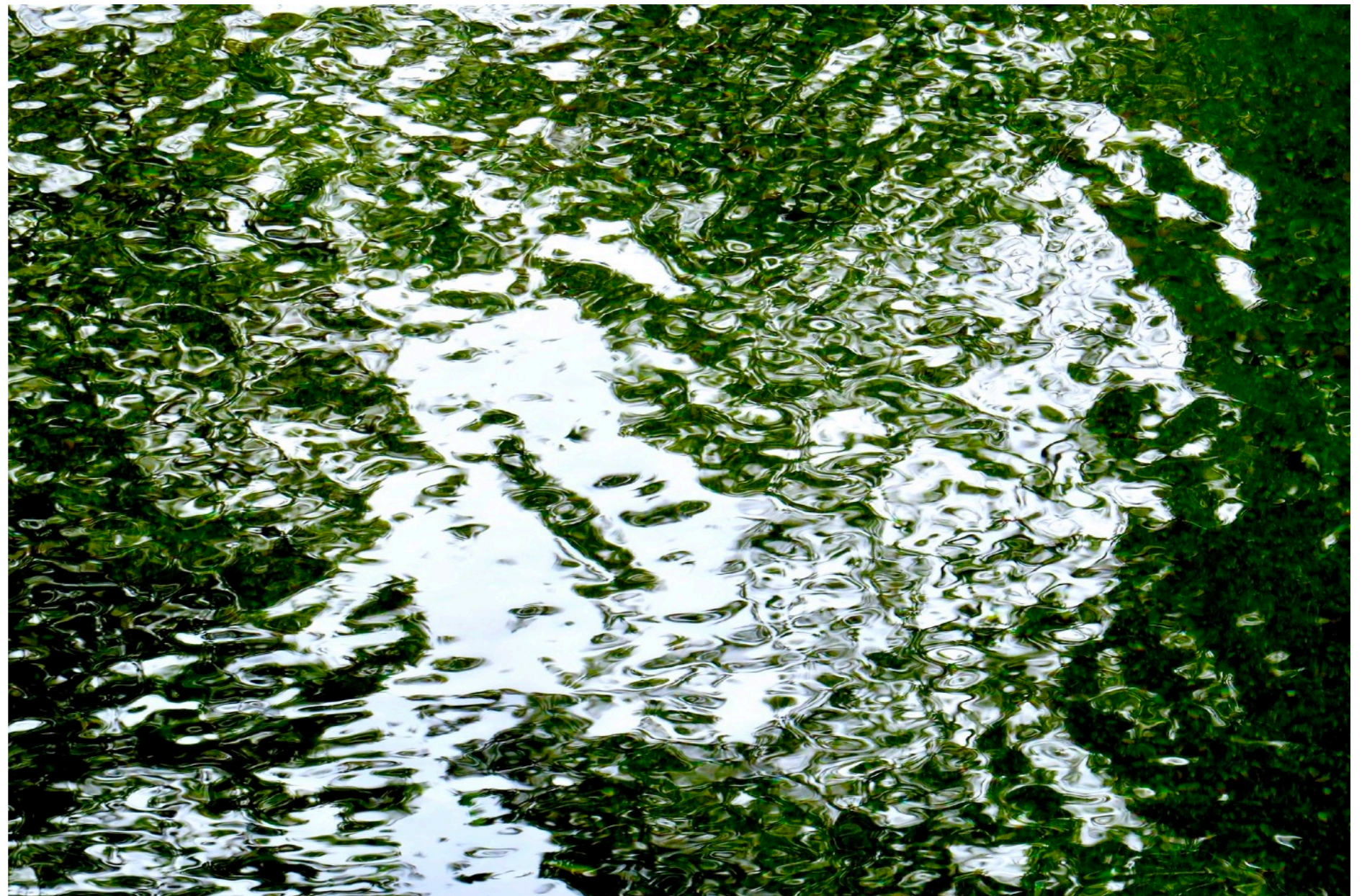
わからないから
いまここがある

わからないから
いまここにいる

えいえんの
そとにはなにが

いえ
えいえんとともに

えいえんのそとは
どこにもないから



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

考えは
じぶんだけのもの
ではないから

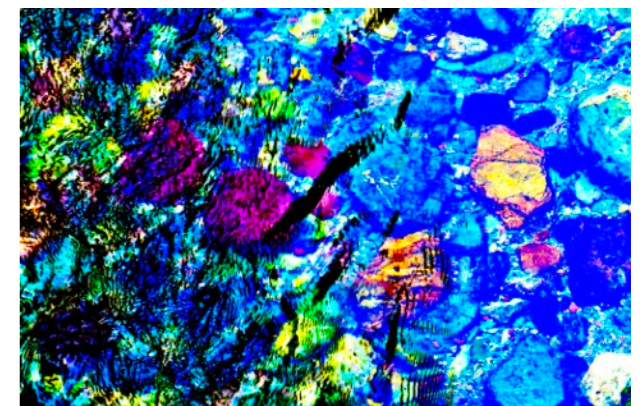
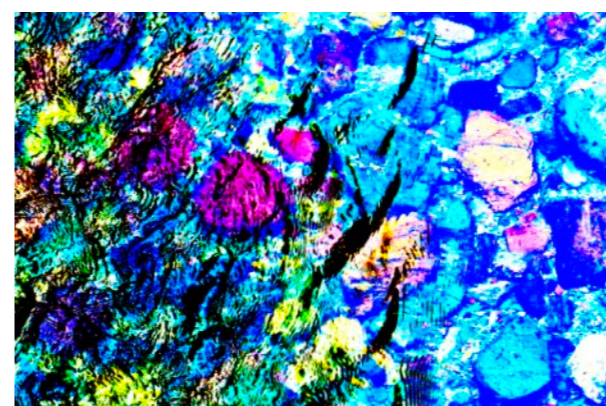
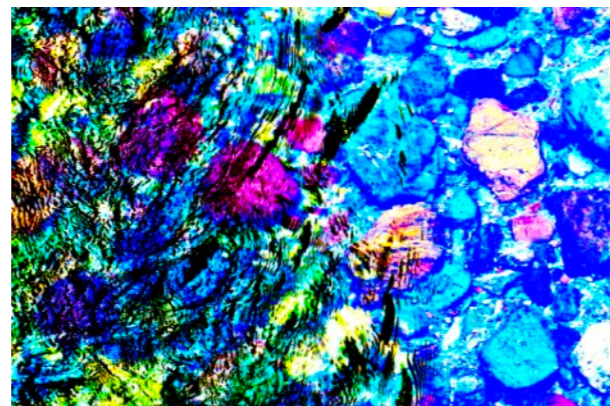
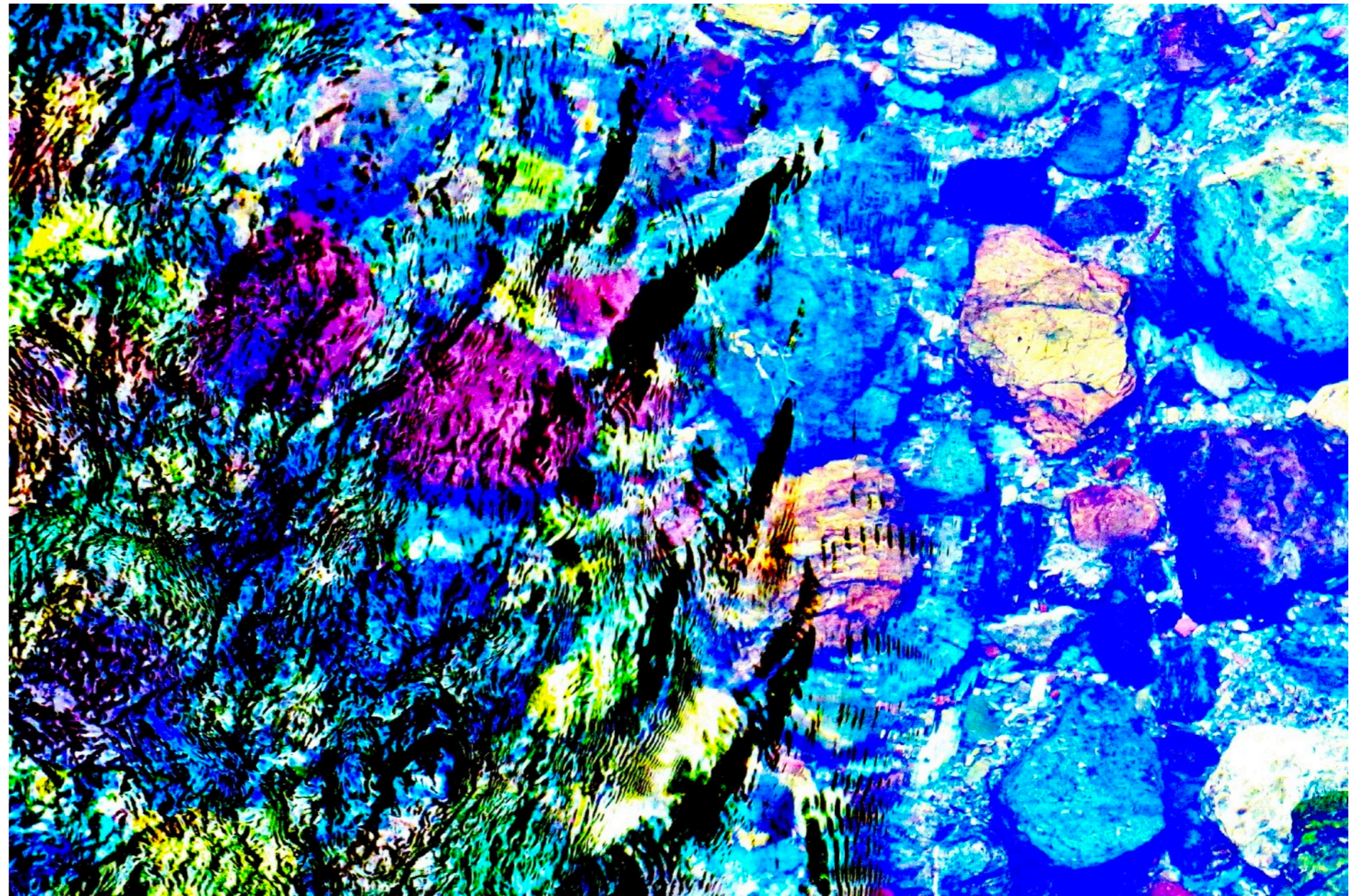
変えなければいけないときや
もっといい考えがあったときは
変えていけばいい

それは
態度を変える
ことではないのだから

態度を変えるのだとしたら
そのときには
なぜ変えるのか
なにを変えるのかを
じぶんに問うことだ

そして
変えてはいけないときは
たとえそれが
外から求められたとしても
変えてはいけない

変えたとき
魂は知らず
深いところで傷を負い
影に覆われてしまうから



※愛媛県内子町・小田深山溪谷にて

☆photopos-3273 2023.8.25

生まれるとき
すでにそこには
死があるように

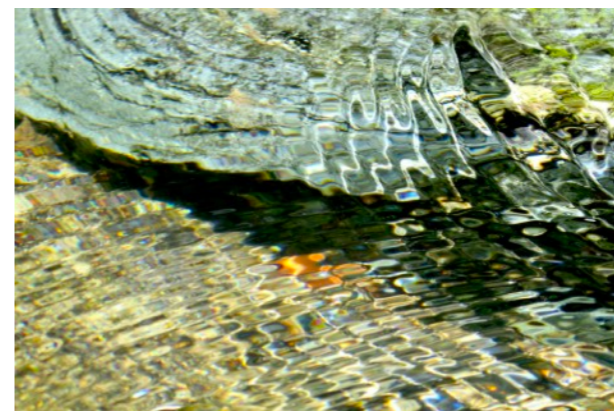
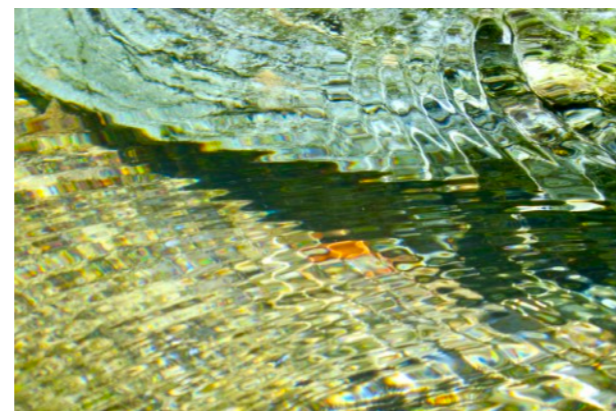
死するとき
すでにそこには
生がある

そして
生と死の
めぐりのように
いまという
永遠が奏でられる

はじまるとき
すでにそこには
終わりがあるように

終わるとき
すでにそこには
始まりがある

そして
はじまりと終わりは
たがいの
種となり
果実となる



※愛媛県久万高原町・古岩屋にて

☆photopos-3274 2023.8.26

生きづらくなったときは
生きるために
捨てる

わたしでないものを
ひとつひとつ
捨てていく

与えられたわたしを
ひとつひとつ
脱ぎ捨てていく

生きづらさは
わたしでない荷物を
抱えつづけているためだ

わたしでないものを
わたしだと思い
それがわたしを苦しめているのだ

名からさえも
自由になったとき
わたしという光は甦る

そしてわたしは
わたしとして
生きていく

わたしという
縛りからさえも
自由となって



※愛媛県久万高原町・古岩屋にて

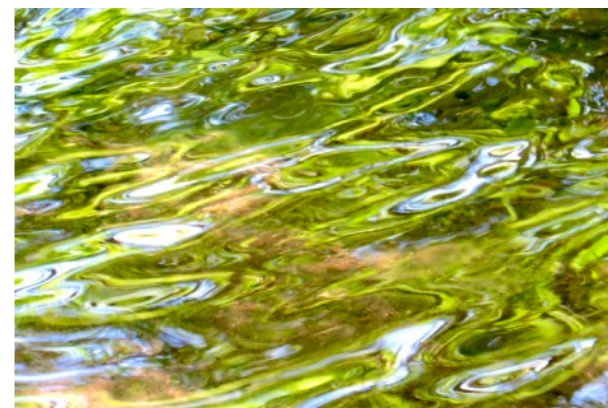
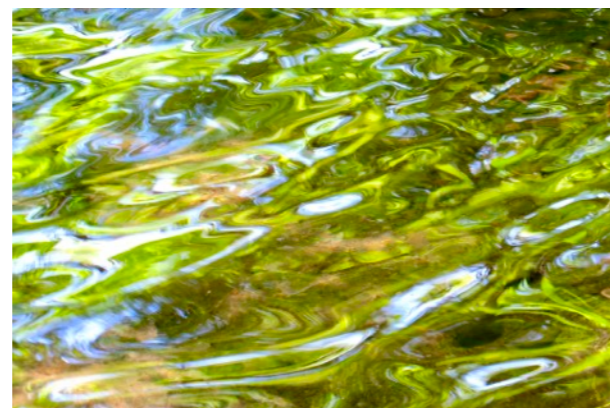
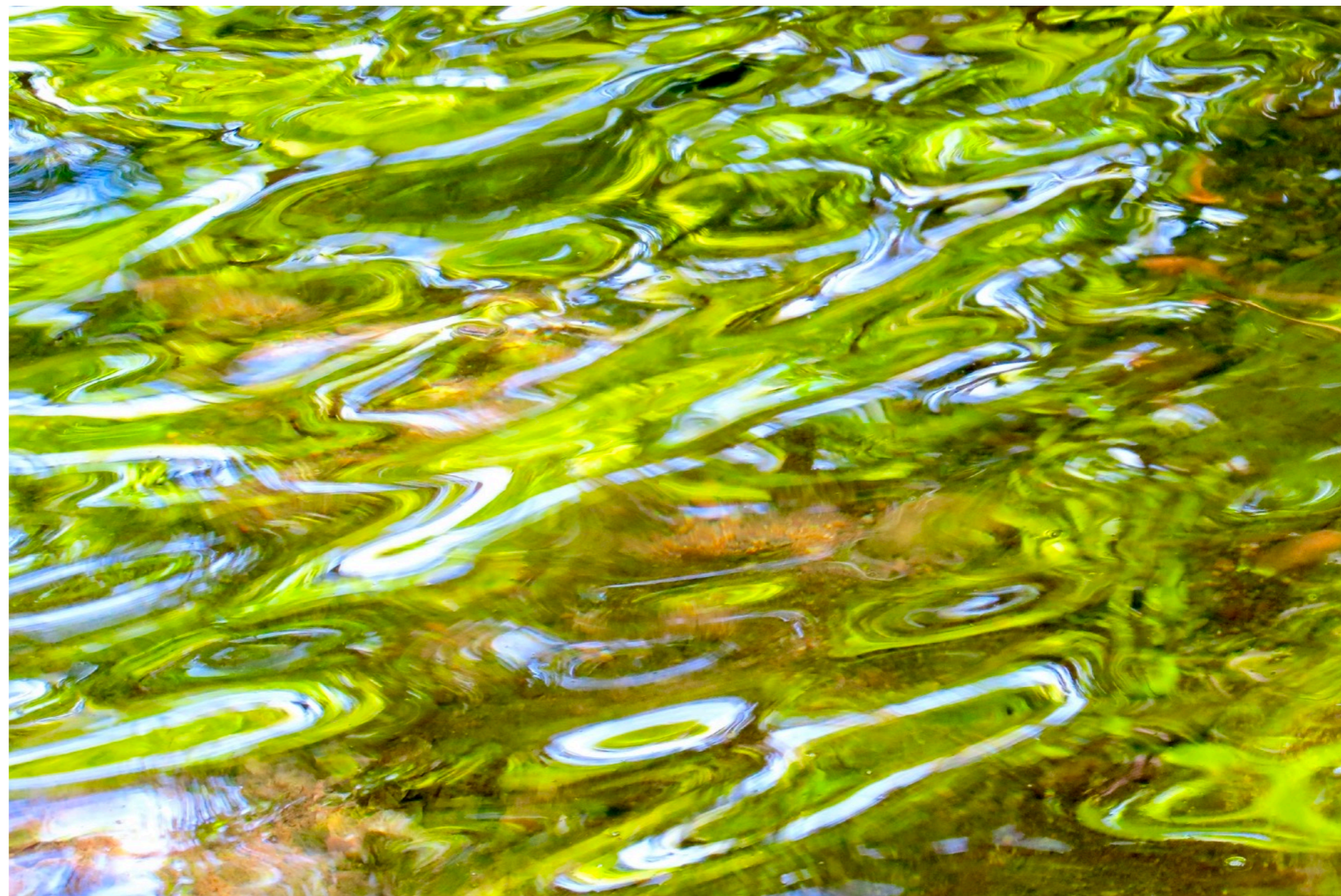
☆photopos-3275 2023.8.27

ひとりでいても
いつもともに在る

地とともに
水とともに
火とともに
風とともに
空とともに
光とともに
そして
時とともに在る

息をするときも
食するときも
歩くときも
歌うときも
眠るときも
いつもともに在る

閉じられた生はない
生はいつも開かれている
ひとりとはひとりじゃない



※愛媛県久万高原町・古岩屋にて